



学校だより 第5号  
令和7年 9月  
富山市立豊田小学校

## 教育の目的とは？

校長 吉野 哲

2学期が始まり、子供たちの元気な声が校舎中に響いています。夏季休業中の静まり返った学校と比べると「やはり学校は子供たちあつてのものだな」と改めて感じます。学校が教育活動を行う主要な施設であることは明確ですが、そもそも「教育の目的」とは何なのでしょう。

「教育の目的」が記されている法律である教育基本法には、『(第1条) 教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない』とあります。つまり、教育は、国家及び社会の形成者として、心身ともに健康な国民の育成のために行われ、学校という集団の中で一人一人が学び、将来、社会に出た時にその学びが生かされるようにすることが大切だと考えます。

学校だより4月号でも述べましたが、「学校は社会の入り口」であり、学校で学んだ何を社会の中で生かすのかということが大切になってきます。例えば、

- 学級の仲間や親・教師を信頼して、明るく生きる
- 学校や社会のきまりやルールを守り、正しく過ごす
- 日々の生活の中で目当てや目標をもち、その実現を目指す

などが考えられます。そのために大切になってくるのが優れたバランス感覚の育成だと、私は考えます。学校では、よく「知・徳・体」の三つの観点で語られることがありますが、具体的には、

- 人の話をしっかりと聞き、友達と協力しながら真面目に学ぶ (知)
- みんなが気持ちよく過ごすことができる教室を目指し、自らを整える (徳)
- 自分の身体や健康に関心をもち、健康で安全な生活を心がける (体)

などがあります。これらのバランスを意識して成長していくことで、今後ますます変化する時代の中でも安定して力強く生き抜く力を身に付けることができると思うからです。以前にも述べましたが、社会に出ると、自分の思い通りにならないことや我慢したり頑張ったりしなければならないことが多くあります。そんな中でも、少しぐらいの困難には負けない、たくましい豊田っ子に成長してくれることを期待しています。